

イミフィンジ[®]とイジユド[®]の 治療を受けられる方へ

監修 近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門 主任教授 **中川 和彦** 先生

イミフィンジ[®]とイジユド[®]の 治療を受けられる方へ

イミフィンジ[®]とイジユド[®]は、患者さん自身の免疫の働きを助けて免疫細胞ががん細胞と戦えるように作用する「**免疫チェックポイント阻害剤**」と呼ばれるお薬です。

イミフィンジ[®]とイジユド[®]を安全に使用し、より良い効果を得るために、このお薬の作用や投与の方法、そして治療によりおこる可能性のある副作用について、患者さん自身やご家族の十分な理解が必要です。

投与中は、特に副作用と思われる症状に早いうちに気づき、主治医に連絡し、適切な処置を受けることが重要です。

そのために、おこりうる副作用の種類や主な症状に、どのようなものがあるのかを前もって理解しておいてください。

イミフィンジ[®]とイジユド[®]の治療を受ける前にお読みください

このパンフレットは、イミフィンジ[®]とイジユド[®]による治療を受けるときの注意事項をまとめた説明書です。

このパンフレットを読んで、イミフィンジ[®]とイジユド[®]の治療を正しく受けてください。

パンフレットは必要ときにいつでも見られるように保管しておきましょう。ご不明な点やイミフィンジ[®]とイジユド[®]の治療について、さらに詳しく知りたいことがありましたら、主治医または看護師にご相談ください。

イミフィンジ[®]とイジユド[®]の治療を予定されている女性の方へ

- 妊婦に対するイミフィンジ[®]とイジユド[®]の安全性は確立していないため、妊娠または妊娠の可能性のある方は、主治医にご相談ください。
- イミフィンジ[®]とイジユド[®]投与中および終了後は一定期間、避妊する必要があります。主治医にご相談ください。
- 授乳中の方は、主治医にご相談ください。イミフィンジ[®]とイジユド[®]が乳汁中に移行する可能性があります。

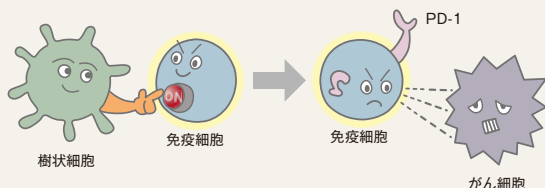
イミフィンジ®とイジウド®の作用

イミフィンジ®とイジウド®は、がん細胞を直接攻撃するのではなく、本来の免疫機能が正常に働き、がん細胞を攻撃できるように作用する免疫チェックポイント阻害剤です。

イミフィンジ®は「抗PD-L1抗体」、イジウド®は「抗CTLA-4抗体」というお薬です。

免疫細胞のがん細胞への攻撃を助ける イミフィンジ®とイジウド®の作用

がんに対する免疫の仕組み

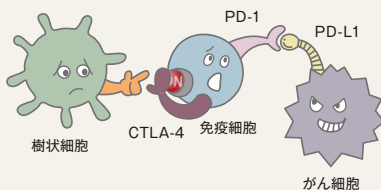


免疫細胞は、樹状細胞から活性化のスイッチを入れられることで、がん細胞を攻撃できるようになります。

活性化した免疫細胞は、がん細胞を見つけて攻撃し、常に体を守っています(免疫機能)。

がんに対する免疫がうまく働かなくなる仕組み

免疫細胞の表面には「CTLA-4」という物質が出てくることがあります。CTLA-4は、免疫細胞が働き過ぎて正常な細胞を攻撃してしまわないように、活性化のスイッチを調整しています。

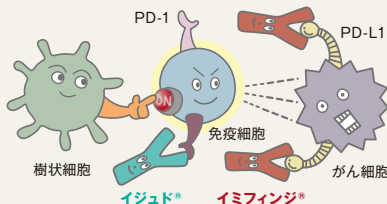


がん細胞は、細胞表面に「PD-L1」という物質を作ります。PD-L1は、免疫細胞の表面にあるPD-1と結合し、免疫細胞によるがん細胞への攻撃を停止させる命令を出して、免疫から逃れ、増殖します。

お薬の働き

【イジウド®の作用】

イジウド®がCTLA-4に結合することにより、樹状細胞が活性化のスイッチを入れやすくなります。その結果、免疫細胞が活性化し、がん細胞を攻撃できるようになります。



【イミフィンジ®の作用】

イミフィンジ®がPD-L1に結合することにより、がん細胞への攻撃停止命令を阻止し、免疫細胞ががん細胞を再び攻撃できるようになります。

副作用について

イミフィンジ®とイジユド®の注意すべき副作用

お薬が目的とする作用以外に「望ましくない」作用があらわれることを副作用といいます。

多くのお薬と同様に、イミフィンジ®とイジユド®も副作用があらわれることがあります。

イミフィンジ®とイジユド®の副作用は、免疫機能の過剰な働きによってあらわれる可能性があります。

副作用のあらわれ方には個人差がありますが、治療を始める前に注意すべき副作用やその主な症状を知っておきましょう。副作用に早く気づくことができます。

早期に症状に気づき、早期に適切な治療を受けることによって重症化を防げる可能性があります。常に日々の体調変化などを日記につけておくといでしょう。

気になる症状があれば、すぐに 主治医の判断のもとで、適切な治療を受けてください。

- このパンフレットに記載されていない症状も含め、**何か気になる症状がある場合は**、我慢したり、自分の判断で市販のお薬などを服用せず、次の受診日を待つことなくただちに主治医または看護師にご相談ください。
- **誤った治療を行うと、副作用の悪化**につながります。やむを得ず主治医以外のもとで診察を受ける場合は、**イミフィンジ®とイジユド®による治療を受けていることを携帯カードを提示のうえで伝えて**ください。
→ 携帯カードについては15ページをご参照ください。

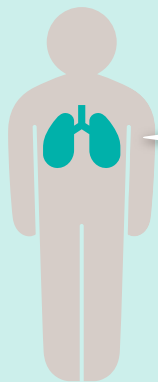
イミフィンジ®とイジユド®の治療に際して、注意すべき副作用があります。

症状が悪化すると命にかかわることがあるため、早く発見し、ただちに処置を行う必要があります。すぐに主治医または看護師に連絡してください。

注意すべき副作用については、次のページ以降で確認しましょう。

イミフィンジ[®]とイジユド[®]の注意すべき副作用

肺機能障害(間質性肺疾患)



主な初期症状

- 咳
- 息切れ
- 呼吸がしにくい
- 胸の痛み
- 発熱

空気を取り込む器官である肺胞の壁や周辺に炎症をおこす疾患です。この病態になると血液に酸素が取り込めず、動脈血液中の酸素が減少した状態となり呼吸が苦しくなります。

胃腸障害(大腸炎、重度の下痢、消化管穿孔)



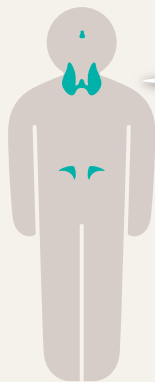
主な初期症状

- 下痢
- 排便回数の増加
- 便の異常(黒い、便に粘液や血液が混じるなど)
- 激しい腹痛
- 吐き気、嘔吐

大腸に炎症がおこり、重度の下痢や出血による血便、激しい腹痛などが起こります。炎症が重症化すると腸の一部に穴があいたりすることがあります。激しい腹痛が続く場合は、注意が必要です。

イミフィンジ®とイジユド®の注意すべき副作用

内分泌障害(甲状腺、副腎、下垂体の機能障害)



主な初期症状

甲状腺機能障害

甲状腺機能低下症

- 冷えを感じる
- 体がだるい
- 気分や行動の変化
(興奮、忘れやすいなど)
- 体重の増加
- 便秘
- 声の変化

甲状腺機能亢進症

- 食欲の増加
- 体重の減少
- 汗を多くかく(多汗)
- 胸がドキドキする
(動悸、頻脈)
- 手指のふるえ
- 息切れ

副腎機能障害

- 体がだるい
- めまい、意識がうすれる
- 気分や行動の変化
(興奮、忘れやすいなど)
- 体重の減少
- 吐き気、嘔吐
- 腹痛
- 便秘
- 抜け毛

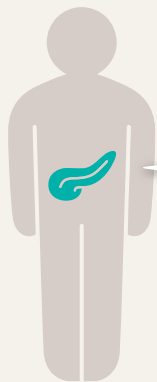
下垂体機能障害

- 頭痛
- 体がだるい
- めまい、意識がうすれる
- 気分や行動の変化
(興奮、忘れやすいなど)
- 体重の減少
- いつもより排尿回数、
量が多い
- 抜け毛
- のどの渇き

ホルモンを作ったり、ホルモンの調整を行う内分泌器官に障害がおこると、さまざまな症状があらわれます。

自分では気づきにくい症状もあるので、**定期的に検査**が行われます。

1型糖尿病



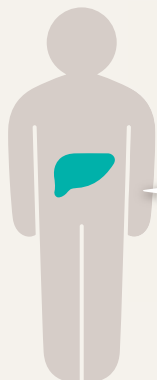
主な初期症状

- のどの渇き(水を多く飲む)
- 吐き気、嘔吐
- いつもより排尿回数、量が多い
- 腹痛
- 意識がうすれる
- 疲れやすい
- 低血圧

血液中のブドウ糖(血糖)を下げるホルモン(インスリン)を作る膵臓の細胞が傷害され、インスリンが出なくなることによりおこります。

定期的に血糖値などの検査が行われます。

肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎



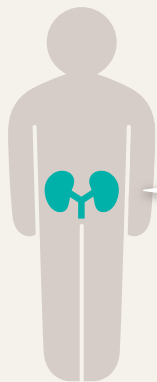
主な初期症状

- 吐き気、嘔吐
- 眠気
- 食欲の低下
- 内出血しやすい、血が止まりにくい
- 腹痛
- 皮膚や白目が黄色くなる
- 尿の色の変化(濃い色)

肝臓の細胞が傷害されることによりおこります。定期的に検査が行われます。

イミフィンジ®とイジユド®の注意すべき副作用

腎障害

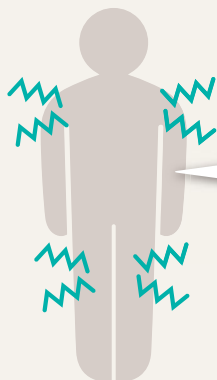


主な初期症状

- 血尿
- 尿量の変化(尿量が減る・尿が出ない)
- 食欲の低下
- 下肢のむくみ

腎臓の炎症によりおこります。定期的に検査が行われます。

筋炎・横紋筋融解症



主な初期症状

- 筋力の低下
- 体がだるい
- 痛み

筋肉の炎症によりおこります。症状は体の一部にあらわれることもあれば、全身にあらわれることもあります。

重症筋無力症

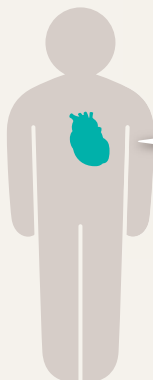


主な初期症状

- まぶたがたれ下がる
- 物が見えにくい
- 食べ物がうまく噛めない
- 飲み込めない
- うまく発音できない
- 頭が持ち上がらない
- 筋力の低下
- 呼吸が苦しい

神経から筋肉へ指令が伝わらなくなるために、筋力が低下したり、疲れやすくなることがあります。

心筋炎



主な初期症状

- 動作時の息切れ
- 疲れやすい
- 動悸
- 胸痛

心筋の炎症によりおこります。心臓の機能が低下することにより、急激に重症化することがありますので、注意が必要です。

イミフィンジ®とイジユド®の注意すべき副作用

免疫性血小板減少性紫斑病



主な初期症状

- 鼻血
- 点状や斑状の皮下出血(青あざができる)
- 歯ぐきの出血
- 出血が止まりにくい
- 血尿
- 月経過多

出血を止める働きをもつ血小板数が減少し、出血しやすくなったり、出血が止まりにくくなる病気です。

定期的に検査が行われます。

脳炎



主な初期症状

- 発熱、寒気
- 頭痛
- 嘔吐
- 記憶障害
- 行動や言動の異常
- けいれん
- 意識障害

脳の炎症により、さまざまな症状があらわれます。

膵炎

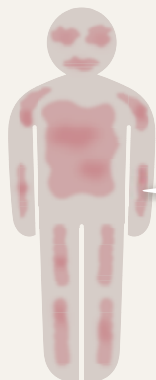


主な初期症状

- 上腹部の急な痛み、圧痛
- 吐き気、嘔吐
- 背中への痛み
- 皮膚や白目が黄色くなる

膵臓の炎症によりおこります。定期的に検査が行われます。

重度の皮膚障害



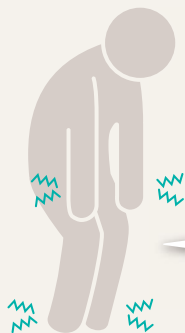
主な初期症状

- 高熱 (38℃以上)
- 体がだるい
- 皮膚の広い範囲の赤み、腫れ
- 水ぶくれ
- くちびる、陰部のただれ
- 目の充血

体の広い範囲が赤くなって腫れたり、口や鼻、陰部などの粘膜がただれることがあります。急激に重症化することがありますので、注意が必要です。

イミフィンジ®とイジユド®の注意すべき副作用

神経障害(ギラン・バレー症候群を含む)



主な初期症状

- 手や足がしびれる、感覚がにぶくなる
- 筋力の低下
- 呼吸が苦しい
- 顔の筋肉がまひする
- 食べ物がうまく飲み込めない

運動神経や感覚神経の障害によりおこります。
手足がしびれたり、力が入らないなどの症状があらわれることがあります。

薬剤の注入に伴う反応



主な初期症状

- 皮膚が赤くなる、かゆみ、発疹
- 寒気、ふるえ
- 息切れ
- めまい
- 意識がうすれる
- 発熱
- 背中や首の痛み
- 顔がはれる

イミフィンジ®とイジユド®の投与中や投与後24時間以内
にあらわれることがあります。症状によって、点滴の速度を
遅くしたり、イミフィンジ®またはイジユド®の投与を中断す
ることがあります。

イミフィンジ®とイジユド®を点滴している途中でも、異変を感じた場合は、すぐに
主治医または看護師に連絡してください。

連絡先メモ

あなたが受診する医療機関の連絡先や緊急連絡先を控えておきましょう。

医療機関名	
電話番号	
主治医名	
緊急連絡先	

携帯カード

あなたがイミフィンジ®とイジユト®の治療を受けていることを示すカードです。
主治医以外のもとで治療を受ける場合などに提示してください。

アストラゼネカ株式会社